

の必要性についても言及。

「『選択と集中』で限られた資源を効果的に生かそうとする観点が不可欠」と述べた。働きやすい職場環境の実現に向けて、「幹部職員の『変わらうとする努力』と気付きで、組織の方は大きく変わる。時代に合わない働き方を貞じとする『昭和の警察官』を、本年で一掃してほしい」と求めた。

(高田 俊吾)

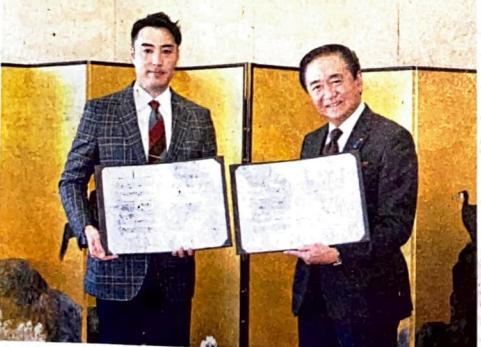
異文化交流促進へ協定

県、ビデオ通話アプリ会社と

新型コロナウイルス下でもビデオ通話などを活用して異文化交流を促進しようと、県は情報通信業「Heite」(千葉県)と連携協定を締結した。同社のビデオ通話アプリ「Sa-i-1(セール)」を使い、オンラインでのコミュニケーションを形成を図る。セールは海外にいる外国人と日本語を使って交流で

あるビデオ通話アプリ。海外の登録者数は131の国や地域で約1万人に上り、日本の文化や日本語に関心を持っている人が日本人との会話を楽しんでいるという。日本人は基本的な機能は無料で利用できる。

連携協定を結んだ黒岩祐治知事とHeiteの後藤社長(左)



生活保護申請
前年比0.6%増
21年10月

厚生労働省は5日、2021年10月の生活保護申請は1万8726件で、前年同月比で0・6%増加したと発表した。増加は6カ月連続。新型コロナウイルス感染による雇用情勢悪化の影響とみられる。受給世帯数は164万1917世帯で同0・3%増えた。

21年10月から生活保護を受け始めたのは1万6637世帯で同1・7%減少。それ以前から受けている人を含む10月の受給者数は203万7970人で、同0・6%減った。

い」と話した。

(川口 晃)

くるほか、異文化交流に関する心のある人を対象にした対面での交流イベントを開催する。同社の協力により、外国籍の県民もアンケートへの回答を条件に無料で利用が可能になる。